

# 第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

## 1 単元名 SDGsで皆の未来を最高にしよう！

### 2 単元について

#### (1) 単元の目標

大和田南小学校の総合的な学習の時間の目標「探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにする。」に基づき、単元の目標を「SDGs 17の目標について調べたり、目標達成に向け何ができるか考えて活動したりすることを通して、皆の力を集めると大きな力となって未来を創ることを理解し、持続可能な発展や自分たちの取組の大切さについて考えるとともに、未来のためにできることを探し、自ら実践していくことができるようにする。」と設定した。

#### (2) 単元についての考え

子供たちは、前年度までの総合的な学習の時間において、古着の回収、水稻の栽培などの体験活動を通し、地域や世界の問題と具体的に関わって学習してきた。学習を通して、世界には様々な課題や目標（SDGs）があるということ、一人一人ができることを考えて取り組むことが大切であるということを理解している。だが、子供たちがこれまで具体的に関わった課題以外についての理解は表面的であり乏しいと言える。また、SDGsに対して「大人が取り組むものである」「自分たちが努力しても変えられるものは少ない」など、“他人事感”“無力感”を感じている子供もいる。

本単元では、小学生である自分たちには何ができるかを模索し、幅広く体験活動を行っていく。体験活動を通して物事についてより深く理解したり、小学生である自分たちにもできることがあるということに気付いたりして、今後も自分たちにできることを探し、主体的に活動していこうという態度を養っていく。

単元の一次では、今年1年間の学習のテーマについて話し合う。その際、昨年度までの学習内容を想起させることにより、昨年度までのものより質の高いテーマを決めることができるようにする。子供同士で意見が割れた場合は、互いの願いがどうやったら叶えられるか、全員が納得できるかについてじっくりと話し合うようにする。テーマを決めた後には、1年間の単元計画を立てる。子供の願いに寄り添い、子供たちが知りたいこと、挑戦してみたいことをできる限り叶えられるような計画にすることで、より主体的に活動できるようにする。

二次では、自分たちが関心をもったSDGsについて調べる。自分が学んだことを学級の友達に発表したり、友達の発表を聞いたりすることを通し、SDGsについて基本的な知識を得ることで、自分たちに何ができるか考えるきっかけとする。

三次では、二次で学んだことをもとに、「寄付をする」「下の学年にSDGsを広める」「パラリンピックスポーツを体験する」「SDGsを学べるすごろくゲームを作る」など、自分たちができることを具体的に考えて実践していく。このとき、無理に活動の一つに絞ることなく、子供の関心に合わせ、様々な活動を体験できるようにする。グループによっては計画が変わってしまったり、他グループと比較してうまくいかなかったりするグループも出てくることが考えられる。このとき、うまくいかなかった理由を知るためにアンケートを取ったり、他のグループの活動を参考にしたりすることによって次時以降の活動に生かすことができるようにする。

四次では、三次で活動した内容をもとに、活動の範囲を他校や校外に広げてさらに多くの人を対象に活動を行う。このとき、三次の活動で得た経験、反省を生かしながら活動していくようにする。また、他校や校外の人と関わることで、より多くの人と目線や考え方に触れられるようにする。自分たちでは気付くことができなかった視点からの意見を取り入れることで、自分たちの気持ちを押し付けるのではなく、より多くの人々が幸せになる方法を考え、実践していくことができるようにする。

五次では、自分たちの現在にかえり、活動を終えた今の自分や友達にはどんな力があるか、将来はどうなりたいかについて追究する。これまでの活動を通し、また小学校生活の仕上げとして、自

分の可能性や将来の自分について見つめ直すことで、期待と希望をもって中学校へと進んでほしい。

また、この学習に並行して、台湾との「アートマイル国際協働学習」、韓国との「子供人権宣言づくり」に取り組む。これは、インターネット環境を活用し、海外の小学生と「人権」「平等」「環境」など、世界のテーマを基に対話的・協働的な学びを行うものである。この活動を通して、同年代の外国の子供たちと交流し、互いの文化や思いについて伝え合い、様々な視点から物事を捉え、自らの視野を広げる一助となるようにする。

### (3) 単元におけるESDの視点

本単元は、小学校生活の締めくくりを意識した単元構成になっている。活動の中で、子供同士で意見が食い違ってしまったたり、テーマの広さや見通しの甘さから自分たちだけでは解決できない問題が発生したりすることもあると考えられる。その際、他のグループや学級、学年から別の視点からの意見を求めたり協力を仰いだりして、様々な意見や願いに折り合いをつけながら問題を解決していくことが重要になる。見方の異なる様々な意見を取り入れながら、よりよい学習や未来のために自分たちができることを考え、より主体的に学習に取り組むことができるようにしていく。

○構成概念	: II 相互性「互いに関わり合って」 V 連携性「力を合わせて」
○能力・態度	: ③多面的、総合的に考える力 ⑦進んで参加する態度
○めざす姿	: <u>皆の力を集めると大きな力となって未来を創ることを理解し、持続可能な発展や自分たちの取組の大切さについて考えるとともに、未来のためにできることを探し、自ら実践していこうという態度をもつ。</u>

### (4) めざす姿に迫るための手立て

#### 活動意欲を高める事象との出会い

- 活動のテーマや計画を子供主体で考えることで、活動への見通しをもてるようにする。
- 世界の課題に対し、実際に活動をしたり、体験をしたりして具体的に知ることで、課題をより身近な問題として捉えられるようにする。
- 活動の計画を立てる際、これまでの学習の振り返りや反省から得たものを参考にするすることで、よりよい活動とするための意欲の一助となるようにする。
- 現在の自分たちにはどんな力があるか考え、自分の可能性や将来の自分について見つめ直すことで、自分の将来について希望をもち、自分の成長に気付くことができるようにする。

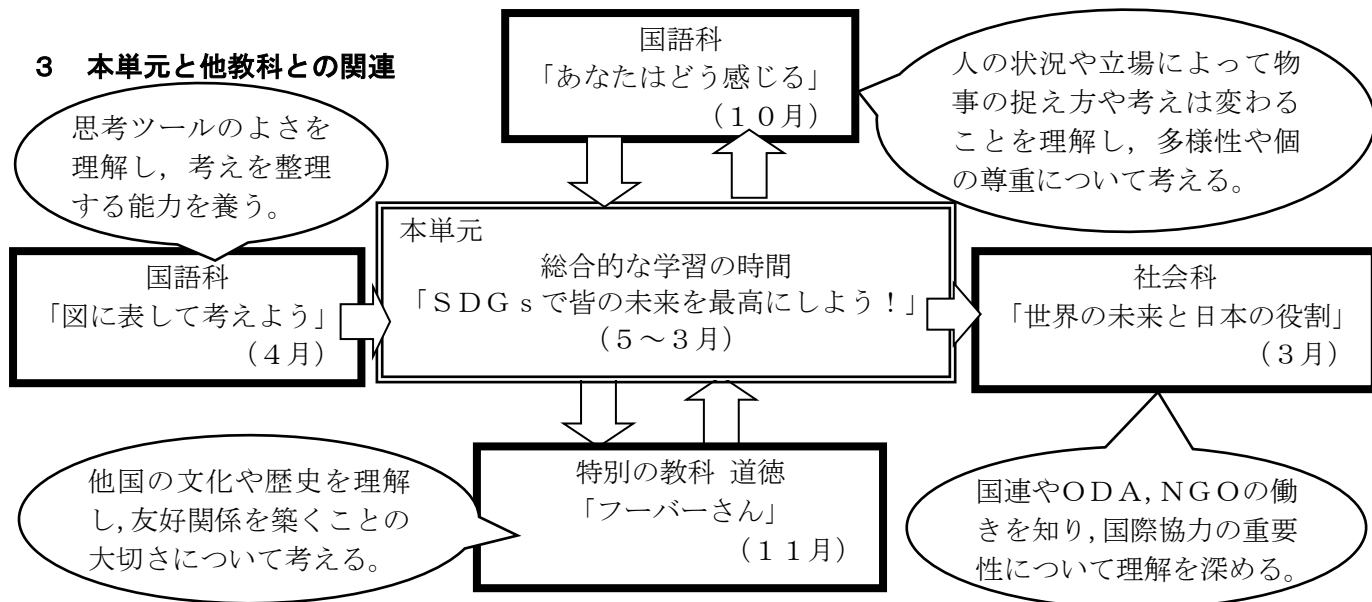
#### 個の思いを追究できる探究的な学習

- 思考ツールを用いて考えを整理することで、自分たちの活動方針を決めたり、理由を明確にして話し合ったりすることができるようにする。
- 授業の終末で毎時間必ず振り返りの時間をとることで、活動の見通しをもったり、自分たちがこの時間でどう成長したのか認知したりすることができるようにする。
- 活動途中で学習の成果を振り返り、活動の方向性を修正、改善することで、子供の願いに寄り添った活動を最後まで続けられるようにする。

#### 学びを行動化するための手立ての工夫

- 活動で関わった相手に対してアンケートをとり、取組を他の目線から評価されることで、自分たちの取組が周囲に影響を与えていること、世界規模の課題であっても皆で力を合わせれば立ち向かえることに気付き、総合的な学習の時間以外でも学びを生かし実践していこうという態度を養っていく。
- 国際協働学習を通し、「人権」「SDGs」というテーマについて外国の小学生と交流を深めることで、様々な視点から見ても世界の問題が深刻であり、自分事でもあることを再確認し、世界の人々に発信しようとする気持ちを高められるようにする。
- 自分たちの将来や職業について調べることで、未来への可能性に気付き、期待をもって中学校へと進めるようにする。

### 3 本単元と他教科との関連



### 4 観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合って決めたテーマをもとに、ステップチャートを使って学習の計画を立てている。(技能)</li> <li>SDGsの課題点や自分たちができることについて理解している。(知識)</li> <li>本や資料、インターネットなどを使って、SDGsについて調べている。(技能)</li> <li>自分たちの行動によって未来が変わることに気付いている。(探究的な学習のよさの理解)</li> <li>自分たちが行う小さな取組がつながると大きな力となり、未来を創ることに気付いている。(探究的な学習のよさの理解)</li> <li>今後社会の在り方はどんどん変動していくことを理解している。(知識)</li> <li>活動の中で自分や友達のよさや可能性に気づき、自分の将来について見つめ直している。(探究的な学習のよさの理解)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心をもったテーマを出し合い、本年度の学習のテーマについて話し合っている。(課題の設定)</li> <li>世界の課題や自分たちにできることについて情報を収集している。(情報の収集)</li> <li>持続可能な社会を作るという目標に向け、自分たちにできる取組の重要性について整理し、考えている。(整理・分析)</li> <li>伝えたいテーマについて、相手に合わせた伝え方を考えながら分かりやすく伝えている。(まとめ・表現)</li> <li>自分たちの活動を校外に発信するとき、どのような点に気を付けるべきか、3次までの活動をふまえながら、様々な立場から考え、表現している。(整理・分析)</li> <li>活動を通して自分たちが周囲に及ぼした影響について客観的な意見を踏まえて考え、表現している。(まとめ・表現)</li> <li>多様な考え方を尊重し、それぞれの考え方のよさを生かそうと考えている。(整理・分析)</li> <li>身のまわりの職業や環境、自分との関わりについてまとめている。(まとめ・表現)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのような計画にすればテーマに沿った学習になるかを考えながら話し合おうとしている。(主体性・協働性)</li> <li>世界の課題を目の当たりにして、これまでの自分の生活を振り返ろうとしている。(自己理解・他者理解)</li> <li>SDGsについて調べ、世界の課題について知る中で、課題に対し自分たちができることを考えようとしている。(将来展望・社会参画)</li> <li>下級生や学校のためにできることを探し、自ら実践しようとしている。(主体性・協働性)</li> <li>他校や地域のためにできることを探し、自ら実践しようとしている。(主体性・協働性)</li> <li>自分や友達のよさ、成長を理解しようとしている。(自己理解・他者理解)</li> <li>自分の可能性や将来、就きたい職業について自ら調べようとしている。(将来展望・社会参画)</li> </ul>

国際協働学習に関わる評価		
<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な視点から見ても世界の問題が深刻であり，自分事でもあることを理解している。(知識)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国の生活や文化について調べたことをもとに，互いの考え方を尊重しながら交流することができる。(まとめ・表現)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国の生活や文化に関心を持ち，外国と積極的に交流しようとしている。(主体性・協働性)</li> </ul>

### 5 単元の全体計画 (全70時間 内国際協働学習15時間)

学習過程 (時数)	指導上のポイント	資料 ○思考ツール
<b>第1次</b> <b>学習のテーマを決めよう</b> (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度までの学習を踏まえ，本年度取り組みたいテーマを自由に出し合ったり，話し合ったりすることができるようにする。</li> <li>意見が割れた場合は，互いの願いがどうやったらかなえられるか，全員が納得できるかについてじっくり話し合うようにする。</li> <li>子供の意見をまとめたときに核となるキーワードが「SDGs」であることに気付くようにする。</li> <li>単元計画を立てる際は，子供の願いに寄り添った計画になるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs スタートブック</li> <li>○ウェビングマップ</li> <li>○ステップチャート</li> </ul>
<b>第2次</b> <b>SDGsを知ろう</b> (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs とはどのようなものか，自分たちの生活とどのように関わっているかについて調べるようにする。</li> <li>ポスターやパンフレット，プレゼンテーションソフトなど多様な方法でまとめ，発表することができるようにする。</li> <li>友達の調べた内容について，自分の生活とのつながりを考えながら発表を聞くことで，自分の身の回りには多くの課題があることに気付き，次時につなげることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○KWL</li> <li>○PMI</li> <li>・画用紙</li> <li>・カラーペン</li> <li>・プレゼンテーションソフト</li> </ul>
<b>第3次</b> <b>何ができるか考えよう</b> (16)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次で学んだことをもとに，自分たちにできることを具体的に考えるようにする。</li> <li>グループごとに関心をもった活動に取り組むようにする。</li> <li>それぞれの活動について目的を明確にするようにする。</li> <li>グループ内で解決できない問題について，他グループの協力を求めることができるようにする。</li> <li>進捗状況報告会を開き，グループごとの現状や本来の目的から変わっていないか，困っていることなどについて学級全体で相談できるようにする。</li> <li>他学級が関わる活動に関しては，事前に学級内で内容を検討し，自分にとっても相手にとっても有益な活動になっているか確認するようにする。</li> <li>活動後，関わった相手に対してアンケートをとり，振り返りの助けになるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○くま手チャート</li> <li>○ピラミッドチャート</li> <li>○KWL</li> <li>○キャンディチャート</li> <li>○PMI</li> <li>・カラーペン</li> <li>・画用紙</li> <li>・プレゼンテーションソフト</li> </ul>

**国際協働学習**  
**(15時間)**  
**台湾**  
**(アートマイル国際協働学習)**  
**韓国**  
**(子供人権宣言づくり)**

- ・オンライン交流を通し，外国に関心をもてるようにする。
- ・互いの考え方の違いを尊重して交流することができるようにする。
- ・共通のテーマについて話し合うこと

<p><b>第4次 学びを 広げよう (16)</b> 8/16 鈴木学級</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動計画を立てる際、これまでの学習の振り返りや反省から得たものを参考にしながら計画を立てることができるようにする。</li> <li>・他校や校外の人と関わる前に、3次までの活動と比較しながら活動内容を検討する。</li> <li>・他校や校外の人と関わることで、これまでより多くの人の目線や考え方に触れられるようにし、より多くの人が幸せになる方法を考え実践していくようにする。</li> <li>・活動後、関わった相手に対してアンケートをとる、話を聞くなどし、取組を他の目線から評価してもらい、3次との違いを明確にし、活動を振り返る助けになるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ステップチャート</li> <li>○PMI <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーペン</li> <li>・画用紙</li> <li>・タブレット</li> <li>・プレゼンテーションソフト</li> </ul> </li> </ul>	<p>で、様々な視点から見ても世界の問題が深刻であることに気付くことができるようにする。</p>
<p><b>第5次 自分の未来に ついて 考えよう (10)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4次までの活動を振り返ることをきっかけに、自分にできることを知り、未来の自分に希望をもち、今後の活動について意欲を高められるようにする。</li> <li>・今後取り組んでみたいことや将来就きたい職業について、自分事として調べることができるようにする。</li> <li>・調べた内容から今後の自分について見通しをもつことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○KWL <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーペン</li> <li>・画用紙</li> <li>・プレゼンテーションソフト</li> </ul> </li> </ul>	

## 6 本時の指導（4次 8/16）整理・分析

### (1) 目標

自分たちの活動を校外に発信するにあたって、どのような点に気を付けるべきか検討し、3次までの活動をふまえながら、様々な立場から考え、表現することができる。

### (2) 評価規準

〈思考・判断・表現〉 自分たちの活動を校外に発信するとき、どのような点に気を付けるべきか、3次までの活動をふまえながら、様々な立場から考え、表現している。

### (3) 展開

時配	学習活動と内容	□指導上の留意点 ■評価(評価方法)	・資料 ○思考ツール
2	1. 本時の内容を確認する。	□前時まで、校外に向けた活動計画を立て、グループ内で活動のねらいや課題点などについて話し合っている。本時は、グループごとの発表を聞き、活動内容の改善を図ることを伝える。	・既習の 掲示
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">校外に発信するとき、気を付けるべきことは何だろうか。</div>			
30	2. 活動内容を検討する。 ・SDGsについて他校、地域に教える取り組みを行います。 ・活動のねらいは～ ・準備は～ ・以前の活動をふまえて改善したのは～ ・見込める成果は～ ・疑問点・課題点は～	□自分たちが行う予定の活動やその内容について、グループごとに説明するようにする。 □プレゼンテーションソフトを用いたり具体物を見せたりしながら活動を説明するようにする。 □3次で作成したPMIのP（よかったこと）M（改善すべきこと）I（面白	・プレゼンテーションソフト ・活動で使用する予定の物

<p>1 0</p> <p>3.</p> <p>3</p>	<div data-bbox="288 165 772 504" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>検討する視点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマから外れていないか</li> <li>・実現可能か</li> <li>・SDGsの概念を意識しながら活動できているか</li> <li>・誰かを傷つける内容が含まれていないか</li> </ul> </div> <p>3. 友達からの意見をふまえ、どのように活動を改善するかについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループの発表を聞いて気付いたけど、僕たちのグループは目標設定が曖昧だったね。具体目標はどうしようか。</li> <li>・グループの話し合いでは問題点について悩んでいたけど、〇〇さんの意見でなるほどと思ったよ。できるかどうか試してみようか。</li> <li>・〇〇さんが話してくれた意見のように、こちらの都合を押し付けるような活動内容になっていたことに気付いたよ。相手の学校の都合を考えながら活動しないといけないね。</li> </ul> <p>4. 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇について提案したけれど、自分たちは△△の視点について考えていなかったことに気付いたので次回話し合いたい。</li> <li>・〇〇さんが話していた△△という意見が参考になったので、自分のグループでも取り入れられるか考えてみたい。</li> </ul>	<p>いと感じたこと)をふまえて説明することで、問題点への対処の仕方を伝えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□自分のグループ内で活動に関する疑問点・問題点を事前に考えておき、焦点を絞って検討できるようにする。</li> <li>□発表を聞く子供は、検討する視点に沿って発表を聞くことができるようにする。</li> </ul> <p>□友達の意見をもとに、どのように問題に対処していくかグループごとに話し合う。</p> <p>□班ごとに話し合うことによって考えを整理するとともに、より広い視点から考えることができるようにする。</p> <p>□友達の意見を尊重し、より広い視点から自分たちの活動を見つめ直すことができるようにする。</p> <p>■自分たちの活動を校外に発信するとき、どのような点に気を付けるべきか、3次までの活動をふまえながら、様々な立場から考え、表現している。(発言・ノート)</p> <p>□本時で出てきた問題の解決方法や今後の見通しについて考えられるようにする。</p>	<p>・3次で作成したPMI</p>
-------------------------------	---	--	--------------------

(4) 板書計画

